

講演会の感想

映画とは違って、東祭に体験した人との話をいろいろ聞いて、とても興味深かった。主に分かった事は72時間の壁などの名場面がおもしろかった。また、こういう話を聞きたい。

講演会の感想

「阪神・淡路大震災」という当時の時のことを語り継ぐという大切さを実感しました。

多くの方が犠牲になったということを知り悲しいです。

人生では2回死ぬということにも意味があり1回目は「事故、病気などで」、2回目は「人に忘れられる」という意味ということも学びました。

今日の体験食は、いい体験食にかわりました。

講演会の感想

いろんな課題がある

この話を聞いて、僕たちがいろんな人に語っていく。

三好さんの気持ちもこめて

話をきいて、昔のことをかたきつなげたいのか、大切なものがよりいっそう
思いました。

講演会の感想

実際の話聞いて、初めて知ることがたくさんあって
とてもおもしろかったです！ 写真を見ることでより、分かりやすく想像
しやすかったです！ この体験を生かして伝えていきたいです

講演会の感想

こんなことを思っていたらよかった。
フィクニュースで遊ぶのもいい、楽しかった。

講演会の感想

いままでしりなかったことがよくわかった。
スリッパの作りかたをわかった。
すごくよくわかりました。
またきいてみたいですね。

講演会の感想

今まで知らなかったことや新しい事がたくさん知りよかったです。
これからの活動に結びつけられるように頑張りたいです。

講演会の感想

震災についていろいろ知れたから、もし、大きな地震がきたら、防災バックとかい
じゅんびして、死なないようにしたいです。

講演会の感想

映画の内容をさらに深く説明してもらえたので、理解が深まりました。

講演会の感想

知らないことが多かったので、しっかり覚えておきた"と思いました。

もし地震がおきたときに、いかしたいです。

講演会の感想

すごく現場の事の詳しく教え
てもらい、すごく心にそできました。
これから防災学習にいか
したいです。

講演会の感想

テレビで見たり聞いた事に+で聞けてより
理解した。

講演会の感想

やっぱり自分自身でたいけん
したことのなることはさしはかり
できないんだなと思った。

講演会の感想

知らない事をいっはい知ることができた。
次の時やまでつなげてこの震災のことを忘れないようにしたい

講演会の感想

今まで、知らない事などが、いっはい知れたり、
ふ、つうだったら、聞かぬことも知れたので、それはよかったなと思いました。
今日、聞いた事をこれからのこといいかしていきたいと思います。

講演会の感想

ワイスがけちうめり暴れました

講演会の感想

地震で生き残った人も糸氏一重で生きていて、災害関連死
などでも死んでしまうことを語り継がなければならぬと思
いました。

講演会の感想

エリカでも見たけど講演会でとてもいいことを知ることが

講演会の感想

多くの方々が犠牲になっていた事を知り、つらいなと思いました。

「人は2回死ぬ」で、2回目が皆のきおくから消える時ときき、少しでも、これからの子孫に語りついでいくべきだと思いました。

講演会の感想

今日、神戸新聞の三好さんから阪神淡路大震災について直接お話を聞く機会がありました。「情報は伝える、そして忘れない」という三好さんの言葉は、私の心に深く刻みられました。教科書やニュースで知る知識だけでは、災害の現実の重みや人々の感情を理解することは難しいと感じました。三好さんは、震災当時新聞が発行できなくなりそうになった危機や、ライフラインが途絶える中でお風呂に入ることもさえ嬉しかった日々の話をしてくださいました。その話を聞き、当時の生活がいかに厳しく日常の小さなことのありがたさが身にしみるものであったかを想像し、胸が熱くなりました。特に印象的だったのは、記事を書くときに

「助けが来るように」という祈りを込めた受持ちで向きあっていたという話です。被災者の命や安全を思いながら文章に向かう記者の責任感や覚悟を知り、報道の力と重さを強く感じました。また、消防車が来ない必要や2時間の壁など、助かる命と救えない命がある現実を具体的に知り、災害の恐ろしさを身近に感じました。

DMATなど医療チームの活動や、震災関連死やフェイクニュースの問題も聞き、正しい情報を伝えることの重要性について深く考えさせられました。さらに、神戸ルミナリエのような追悼の場や震災の記録活動を通して、犠牲者を忘れないための努力が続けられていることを知り、命を伝え続けることの意義を学びました。三好さんは「人は二度死ぬ」という言葉で犠牲者の記憶の大切さを語っていました。命を失うことだけでなく、忘れられることもまた死んだと考えれば、犠牲者の生きた証を残すことは非常に大切だと感じました。絵本や記事、語り継ぎなど、方法は違っても、命の尊さや日常の当たり前の大切さを伝えることができることを知り、伝える側の工夫や努力の大切さにも感動しました。私は今日の話を聞き、災害は決して過去の出来事ではなく誰にでも起こりうる現実であることを実感しました。災害は繰り返すための備えにゴールはなく、当時を知らない若者こそ学びべきだという言葉の重みを強く感じました。今回の学びを自分の生活に生かすために、私は日常の中で多くの意識を高めようと思いました。例えば、家族や友人と避難場所、ルートを考えとおくことは、小さくとも確実に命を守る行動です。また、SNSやニュースで得た情報の真偽を確認する習慣も、フェイクニュースに惑われない正しい判断をするために大切だと感じました。災害について学ぶことは単に知識を増やすだけではなく命の尊さや日常のありがたさを意識し、自分周りの命を守る責任につながるのだと思います。三好さんの話を聞いて、私は震災の現実を忘れずに語り継ぐことの大切さと、自分自身が日常の中で防災や情報の重要性を認識することの意味を強く感じました。犠牲者の生きた証を心に留め、日々の生活の中で小さな備えを積み重ねることが、未来を生きる私たちにとって最も身近で大切な行なひだと思っています。今回の学びを通して、私は災害に備える意識と、人々の命や経験を忘れないで伝えることの大切さを、これからは自分の生活の中で実践していきたいと思っています。震災の現実を知り、考えることは、単なる学びではなく、未来を生きる私たちへの責任だと思っています。